

一般質問

■令和7年6月19日～6月25日

※令和7年6月21日～6月23日は休会です。

一般質問では、「教育」に関することや「福祉・少子化対策」について、多くの議員が取り上げたほか、「産業・雇用関連」や「医療関連」に係る施策などについて、議論を交わしました。



一般質問の様子

～ 会派名略称 ～

自由民主党・県民会議(自民)、みやぎ県民の声(県民の声)、日本共産党宮城県議員団(共産)、公明党県議団(公明)、立憲・無所属クラブ(立無ク)、21世紀クラブ(21世紀ク)、日本維新の会(維新)、無所属(無所属)



大池康一議員
(公明)



議員名簿

令和7年6月19日 質問

質問 朝の小1の壁について

こども家庭庁が初めて実施した調査では、小学1年生の子供がいる共働き及び一人親の保護者のうち、46.9%が朝の居場所があれば利用したいと回答している。まずは県として実態を把握し、子育てと教育を所管する両部局が連携を強化するなど、働く世帯の子育て環境を充実するため「朝の小1の壁」の対策に取り組むべきと考えるがどうか。

保健福祉部長 子供の居場所づくりのニーズを把握した上で、支援の在り方について検討していく と回答

こども家庭庁や文部科学省では、NPOや地域と連携し、朝の子供の居場所づくりに取り組む自治体を支援するなど、子供が安全で安心して過ごせる取組を推進している。

県内においては、仙台市が、国のモデル事業や県の交付金を活用し、小学校の始業前の時間に、学校の施設内で児童が安全に学び、体験活動ができる居場所を開設する取組を今年度から実施することになっている。

県としては、県教育委員会や市町村と連携し、子供の居場所づくりのニーズを把握した上で、支援の在り方について検討していく。



録画

その他の質問 教育施策について／宮城県民会館・NPOプラザ複合施設について／デザイン人材を生かした行政運営について

質問 宮城県と仙台市の連携について

防災庁の設置について、東日本大震災の経験や東京からのアクセスの点から有力な候補地である仙台市と連携して要望すべきと考えるがどうか。

知事 誘致を表明している仙台市と連携し、適切に対応していきたい と回答

防災庁の設置場所について、我が県は、東日本大震災からの復興を通して得た経験と知見があり、首都圏等へのアクセスも良く、学術研究機関や教育機関の立地も含め、防災庁の設置場所として有力な候補地になり得るものと認識している。

先日行った政府要望の際にも、県の優位性の高さを国に対して訴えてきたところであり、誘致を表明している仙台市と連携し、適切に対応していきたい。



録画

その他の質問 富県宮城の推進とその課題について／子供たちの国語教育とスポーツについて／安全、安心な日本、宮城県について／医療、福祉、少子化対策について



渡辺勝幸議員
(自民)



議員名簿

令和7年6月19日 質問

質問 今必要とされる地域医療提供体制について

新たな地域医療構想について、多くの県民が納得する医療・介護の提供体制を構築するため、今後、県民に対してどのように情報開示をし、開かれた場における十分な議論を重ね、様々な関係者の合意形成を目指すのか。

知事 様々な手法や機会を通じてわかりやすく丁寧な説明に努める と回答

新たな地域医療構想の策定と推進に当たっては、地域の医療、介護をはじめとした多くの関係者の方から納得が得られるよう、十分に合意形成を図るとともに、課題や目指す方向性について県民の理解をより深めるため、様々な手法や機会を通じてわかりやすく丁寧な説明に努めながら、地域での良質かつ適切な医療・介護提供体制の構築に取り組んでいく。



録画

その他の質問 女川原発乾式貯蔵施設について／
人権教育の充実「包括的性教育の導入」等について／
働きやすい職場環境について



ゆさみゆき議員
(県民の声)



議員名簿

令和7年6月19日 質問



柚木貴光議員
(自民)



議員名簿

令和7年6月19日 質問

質問 インド共和国との国際経済交流について

宮城県は、スタートアップ企業の数が増加傾向だが、投資家不足が課題であることから、インド投資家や財閥と県内スタートアップ企業とのマッチング支援をしてはどうか。

経済商工観光部長 他県の事例も参考としながら、投資家への売り込みや市場開拓の更なる取組について検討していく と回答

県では、スタートアップ企業と支援機関とのマッチングを行っているが、昨年度の実績58件のうち2件がインドの政府系投資誘致機関とのマッチングであった。

投資家への売り込みや市場開拓の支援は、スタートアップ企業の成長にとって大変有効であることから、他県の事例も参考としながら、更なる取組について検討していく。



録画

その他の質問 外国人との秩序ある共生社会について／
宮城県における安全保障と危機管理について／
教育施策と連動した地域振興について



三浦一敏議員
(共産)



議員名簿

令和7年6月20日 質問

質問 村井県政5期20年について

以前、知事は精神医療センターと東北労災病院との富谷での合築の見通しなどに関し、「合意ができなかったら、知事選挙の最大公約なので、当然責任問題になるだろう」と答弁したが、結局、知事の判断で精神医療センターは名取存続となった。政治責任は免れないと思うがどうか。

知事 将来の医療体制維持を見据えた総合的判断であることから、御理解いただきたい と回答

4病院再編は精神医療センターだけの問題でなく、黒川郡の救急搬送時間や災害対応病院の有無、仙台市の病床過多など広域的課題への対応、将来の医療体制維持を見据えた総合的判断であり、精神医療センターの名取存続を決めたからといって私から断念したことにはならないと思う。

関係者の方に心配をお掛けしたことは事実だが、私の立場としては、将来を見越して手を打っていくことが、いま一番必要なことだと考え対策したものであり、御理解いただきたい。



録画

その他の質問 米価高騰について／女川原発・乾式貯蔵施設について／河南須江のGバイオ火力発電について

質問 国際交流の推進について

台湾高級中等以下学校国際教育交流連盟と教育分野の交流・連携に関する覚書の締結以降、台湾との学校間交流の取組が進んでいるが、これまでの具体的な成果や今後の課題認識はどうか。

教育長 県立学校向けに手引書を作成するなど、台湾との学校間交流推進に努める と回答

昨年度は、台湾から県立高校に385名の生徒等が訪問し、我が県からは8校548名の生徒が台湾を訪れたほか、県立高校7校では、オンラインで英語による授業交流等を実施するなど、台湾と学校間交流を実施している県立高校は着実に増加している。

一方で、言語や文化の違いによる意思疎通への不安や、実施方法が分からない等の理由により、学校間交流に踏み出せないといった学校の意見も伺っている。

県教育委員会では、手引書を作成し全ての県立高校に周知するなど、台湾との国際交流の一層の推進に努める。



録画

その他の質問 公立高校の魅力向上と制度課題について／中央省庁の施策について／観光振興について



杉原崇議員
(自民)



議員名簿

令和7年6月20日 質問

質問 高等技術専門校の再編整備について

自動車整備科について仙台校1校へ再編する方針が示されている。現行の定員が3校で計55名から20名と大幅に削減されることについては、今後の地域産業を支える人材の確保、育成に影響が及ぶのではないかと懸念する。自動車整備士の人材確保が厳しい現状や将来的なニーズを踏まえると、再度、慎重な検討が必要ではないか。

経済商工観光部長 官民合わせて自動車整備業界の将来的な人材ニーズに対応していく と回答

自動車整備科の再編整備においては、県内で類似の人材育成を行う民間訓練機関が存在することを踏まえ、官民競合の観点等を考慮して定員を設定している。

自動車整備士の人材不足を背景とし、県内の民間訓練機関では、入学者定員を拡大しているところであり、県では新たに整備する施設を活用して、大型車両にも対応するなど、特色を持った訓練を行うことにしており、官民合わせて自動車整備業界の将来的な人材ニーズに対応していく。



その他の質問 県立高校の将来構想について／防災力の向上について



菊地忠久議員 (自民)



議員名簿

令和7年6月20日 質問

質問 ひきこもり支援について

中間的就労について県及び仙台市で実施されているが、当事者にとって支援の連続性が見えにくいという課題がある。当事者や支援機関が制度を把握しやすくなるよう、統一的な支援マップやオンラインポータル整備など、段階的な支援が途切れないような情報共有・紹介体制の構築を検討して欲しいがどうか。

保健福祉部長 相談者の希望に応じて、県と仙台市が相互に事業の情報提供や紹介を行うことを検討する と回答

ひきこもり状態の方への就労支援は、若者支援や就職氷河期世代支援など様々な支援機関が関係しているため、個々の多様なニーズにきめ細かく対応するためにも、庁内各部署や市町村と引き続き連携を密にして取り組んでいく。



その他の質問 就労支援について／語学教育とCEFRについて／宮城の行政運営・働き方改革推進について



三浦ななみ議員 (県民の声)



議員名簿

令和7年6月20日 質問



質問 少子化対策と子育て支援について

少子化対策として多子世帯への支援を充実させるべきである。多子世帯支援において、多子の認定方法の都合で支援対象から外れてしまっている世帯がある。生涯における子供の養育人数の観点から県独自に支援を行い補完していくことは、理想の子供を持つ上で課題となる経済的負担の軽減につながり、理想の子供の数を産み育てられる宮城県の実現につながると考えるが所感はどうか。

保健福祉部長 養育人数に関わらない支援の在り方も含め、ライフステージに応じた切れ目のない支援の充実・強化に努める と回答

生涯における子供の養育人数は、その把握等に課題があるが、県では、不妊検査支援の拡充や不妊治療など、子供の数によって制限されない支援にも取り組んでいる。県としては、養育人数にかかわらない支援の在り方も含め、ライフステージに応じた切れ目のない支援を充実・強化し、市町村とも連携して少子化対策に努めていく。



録画

その他の質問

医療提供及び救急体制の諸課題について／
学びの場と学校に登校していないこども支援の充実について

さとう道昭議員
(自民)



議員名簿

令和7年6月24日 質問

質問 若年女性の転出抑制対策について

総務省住民基本台帳人口移動報告によると、昨年本県は2,989人の転出超過であり、転出先は、東京9,460人、神奈川4,201人、埼玉3,591人、千葉3,114人と首都圏が43.8%、年代別では男女ともに10代後半から30代前半が61.2%と最も多く、進学や就職等が主な要因と推察される。こうした若い世代の転出抑制が少子化対策に有効と考えるが所見はどうか。

知事 若年女性の県内定着につなげるための様々な取組を進めている と回答

若い世代、とりわけ若年女性の流出が課題であると認識していることから、若年女性の県内定着につなげるため、現在、女性が働きやすい職場環境の整備に向けた専門家の派遣や施設整備等への補助制度のほか、宮城の魅力や働く女性を応援する企業を紹介するポータルサイトの開設、出産や子育て等を理由に離職した女性の再就職を支援する「みやぎ女性のキャリア・リスタート支援センター」の運営などを進めている。

さらに、次世代育成・応援基金を活用した、結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援による少子化対策も強力に推進していく。



録画

その他の質問

法定雇用率の充足について／国際交流と海外戦略の方向性について



吉川寛康議員
(21世紀ク)



議員名簿

令和7年6月24日 質問

質問 県南地域高校へ土木学科の早期新設について

白石工業高校への土木に関する学科設置について、先の予算特別委員会においてできるだけ早期に新実習棟を設置できるよう努力する旨の答弁があったが、県南地域における土木技術職員の確保・育成を図るため、開設予定を令和9年度に早めることはできないか。

教育長 令和10年度から土木の学びを開始できるよう着実に準備を進めていくと回答

できるだけ早期に、県南地域において土木の学びが実現できるよう、様々な観点から再度検討を行ったが、旧実習棟の解体工事後に新しい実習施設の建設工事を予定しているため、完成までに約4年の期間を要する見込みである。

新施設での実習を2年次から開始するようカリキュラムを工夫し、令和9年度に入学者選抜を実施することで、令和10年度から土木の学びを開始できるよう着実に準備を進めていく。

その他の質問 防災・減災、国土強靱化の推進について／県南地区の道路整備促進について／首都圏アンテナショップの多角的な利活用について／地域の課題解決を目指す地域運営組織の形成推進と中間支援組織の充実について／運搬水の利用について



録画



八島利美議員
(自民)



議員名簿

令和7年6月24日 質問

質問 民生委員の直面する課題について

地域社会のつながりの希薄化や課題が複雑化・多様化する中、民生委員の負担が増しているが、民生委員のなり手不足は全国的な課題であり、持続可能な制度とするため、活動費の引上げなど、なり手不足解消への取組を国に強く要望すべきと考えるがどうか。

保健福祉部長 引き続き、民生委員の処遇改善について国に求めていくと回答

民生委員の職責や昨今の業務量の増加を踏まえ、県では、民生委員に必要な活動費を的確に支給できるよう、財政支援の拡充について全国知事会を通じて国に要望を行っている。

県としては、持続可能な民生委員制度の確立に向け、引き続き民生委員の処遇改善について国に求めていく。

外崎浩子議員
(自民)



議員名簿

令和7年6月24日 質問



録画

その他の質問 仙台市北西部の現状と今後の未来について／宮城県の進める国際政策について



小畑仁子議員
(県民の声)



議員名簿

令和7年6月25日 質問

質問 誰もが安全・安心に暮せる県政について

こども病院で働く看護師は、医療的ケア児が利用している医療機器や夜間対応を熟知している。安全・安心を担保して、医療的ケア児が宿泊を伴う学習ができるよう、こども病院の協力の下、学習支援を行うことを提案するがどうか。

教育長 宿泊学習の教育的効果や、児童生徒及び保護者のニーズを踏まえ引き続き検討していく と回答

県立こども病院には、県立特別支援学校における安全・安心な医療的ケアの体制整備のため、現在も多くの場面で協力をいただいている。

県教育委員会としては、宿泊学習の教育的効果や、児童生徒及び保護者のニーズを踏まえ、県立こども病院との連携なども含め、引き続き検討していく。



録画

質問 農業関係について

食糧管理法廃止から30年、改めてこれまでの米政策の検証と見直しが必要と考える。全国知事会長として、消えた21万トンを含む米政策の検証と見直しの要請及び生産現場の声を国に届けてほしいが所見はどうか。

知事 持続的かつ安定的に供給できる米政策となるよう、全国知事会としてもしっかりと要望していく と回答

国では、米の安定供給の実現に向け、中長期的な対策について検討していくと伺っている。県としては、国の検討状況を注視するとともに、地域の実情を踏まえ、生産者が意欲を持って持続的かつ安定的に供給できる米政策となるよう、全国知事会としてもしっかりと要望していく。



録画

その他の質問

林業関係について／
観光関係について／
土木関係について



伊藤吉浩議員
(自民)



議員名簿

令和7年6月25日 質問

質問 物価高騰から県民生活を守る対策

物価高を上回る賃上げが急がれる。徳島県や群馬県など先行自治体の取組を参考に、中小企業への直接支援と再起支援事業を組み合わせるなど、中小企業の経営を支えるとともに労働者の賃上げ支援を実施すべきと考えるがどうか。

経済商工観光部長 賃上げを一過性ではなく持続的なものとするため、他県の事例も含め研究していく と回答

賃上げ実施企業に対する支援金については、賃上げを促す施策の一つとして認識しているが、持続的な賃上げを維持する上で、どの程度の効果があるか他県の事例も含め研究していく。



その他の質問 4病院再編問題と医療をめぐる諸課題／安心して住み続けられる県営住宅／災害から命を守る政策について



ふなやま由美議員 (共産)



議員名簿

令和7年6月25日 質問

質問 富谷市の病院誘致公募と県の対応について

他の地域と比較して医療資源が少ない富谷・黒川地域の4市町村から県に対して、政策医療及び地域医療の観点から、財政を含む特段の支援要請があったところだが、誘致病院への県の支援の在り方はどうか。

保健福祉部長 県の政策医療の課題解決につながるか見極めた上で、必要な支援について検討していく と回答

県としては、富谷市の病院誘致の公募状況を注視しながら、今回の病院誘致が県の政策医療の課題解決につながるか見極めた上で、過去の支援事例等も参考にしながら、必要な支援について検討していく。



その他の質問 土葬をめぐる日本と世界の状況について／次期産廃最終処分場と周辺の課題解決について



藤倉知格議員 (自民)



議員名簿

令和7年6月25日 質問